

中央社会保険医療協議会 総会 (第20回) 議事次第

平成14年2月20日(水)

10時00分～13時00分

厚生労働省専用18会議室(17F)

議題

- 1 平成14年度薬価改定、材料価格改定等について
- 2 平成14年度診療報酬改定等について(諮問)

平成14年度薬価基準改定の概要

1 薬価基準収載品目数

	内用薬	注射薬	外用薬	歯科用薬剤	計
品目数	6,036	3,222	1,894	39	11,191

2 薬価改定方式

- 平成14年2月13日の中医協において了解された薬価算定の基準に基づき、改定を行う。

(内訳)

- ア 市場実勢価格加重平均値調整幅方式による改定
- イ 後発品のある先発品の薬価改定(4%、5%、6%)
- ウ 再算定による改定
- エ 低薬価品に係る改定

3 改定品目数(見込み)

	引き下げ	引き上げ	据え置き	計
品目数	9,096	98	1,997	11,191

- 再算定については、薬価算定組織における検討を経て、中医協の了承を得る予定。

3 実施時期 (予定)

官報告示：平成14年3月中旬

実 施：平成14年4月1日

(参考)

主な薬効群の改定率

		改定率 (%)	
(内用薬)	114	解熱鎮痛剤 6.9	
	124	鎮けい剤 9.9	
	212	不整脈用剤 9.0	
	214	血圧降下剤 6.6	
	217	血管拡張剤 6.8	
	218	高脂血症用剤 6.8	
	219	その他の循環器用剤 9.3	
	232	消化性潰瘍用剤 10.4	
	311	ビタミンA及びD剤 12.3	
	313	ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く) 6.3	
	422	代謝拮抗剤 8.4	
	449	その他のアレルギー用薬 7.4	
	520	漢方製剤 5.2	
	613	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの 6.3	
	624	合成抗菌剤 8.3	
	(注射薬)	399	他に分類されない代謝性医薬品 8.6
		613	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの 7.7
	(外用薬)	721	X線造影剤 9.9
		131	眼科用剤 6.0
	264	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤 7.9	

平成14年度材料価格基準改正の概要

1 材料価格基準機能区分数（保険医療機関購入価格を除く。）

	医科用材料	歯科用材料	合計
区分数	626	90	716

2 材料価格算定方式

材料価格算定基準に基づき算定

3 改定率等

医療費ベース 0.1%

（内訳）

- ア 実勢価格に基づく引き下げ
- イ 再算定による引き下げ

4 算定区分別内訳（見込み）

	引下げ	据置き	その他	合計
区分数	325	275	116	716

（注）その他は、購入価で償還していたもの等

5 再算定

次のものについては、材料価格算定基準に基づき、再算定を行う。

ペースメーカー	12%
PTCAバルーンカテーテル	25%
冠動脈用ステントセット	4%

ただし、各材料の安定供給の確保等の観点から、以下のとおり、段階的に引き下げを実施する。

平成14年4月～ 平成15年1月～ 平成16年1月～

ペースメーカー	5%	9%	12%
PTCAバルーンカテ ーテル	9%	17%	25%
冠動脈ステント	2%	3%	4%

(注) 率はそれぞれ平成12年度基準材料価格からの引き下げ率

6 実施時期(予定)

官報告示 平成14年3月中旬

実 施 平成14年4月1日

(参考)

主な分野の改定率

(医科用材料)

ダイアライザー	9.5%
フィルム	5.9%
膀胱留置用カテーテル	14.3%

(歯科用材料)

歯科鑄造用銀合金 第2種	9.6%
歯科充填材料Ⅱ	13.8%
義歯床用スルフォン樹脂	3.3%

酸素の価格設定について

1 離島以外の地域に所在する医療機関の場合

液体酸素

- ・定置式液化酸素貯槽 (CE) 0.20円/L
- ・可搬式液化酸素容器 (LGC) 0.30円/L

酸素ポンペ

- ・大型ポンペ 0.40円/L
- ・小型ポンペ 2.25円/L

2 離島に所在する医療機関の場合

液体酸素

- ・定置式液化酸素貯槽 (CE) 0.30円/L
- ・可搬式液化酸素容器 (LGC) 0.45円/L

酸素ポンペ

- ・大型ポンペ 0.60円/L
- ・小型ポンペ 3.00円/L

上記の価格を上限価格とし、上限価格未満で購入している場合は、当該価格により償還する。